



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.335 . 1997 . 9 . 1



久米南 美しい森

目 次

事業の紹介	2	“樹”	6
普及最新情報	3	林研だより	7
シリーズ森林公園	4	お知らせ	8 ~ 9
普及指導最前線	5	林産物市況等	10

“おかやまの 未来をひらく 農林漁業”

岡山県 農林漁業活力向上運動

事業の紹介

木材需要拡大推進に係る施策

本県の製材需要の約九割は建築用で占められており、住宅の着工状況は木材需要に大きな影響を及ぼします。本年の新設住宅着工状況は、昨年の消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動等により落ち込んでおり、木材業界もその影響を受け、木材価格、需要とも低迷するという極めて厳しい状況にあります。

このような中、本年度も各種施策を実施し、県産材の需要拡大を図ることとしています。

一 普及啓発等

最近、室内におけるホルムアルデヒドやトルエン等の有害物質の発生が問題になっていますが、ムクの木材はこれら有害物質の問題がないうえ、情緒安定や衝撃の緩和等健康的な素材として見直されています。

また、阪神・淡路大震災にお

いて生じた木造住宅の耐震性への誤解については、実大材の木造住宅の耐震実験により、現行の建築基準法に基づいてきちつと建てられれば、阪神・淡路大震災クラスの地震にも十分耐えられるということが、明らかになっています。

これらの点について、各種広報媒体や街頭キャンペーン・ふれあい木材展等の各種イベントを通じ、普及啓発を図ることとしています。

二 補助事業等

公共施設・個人住宅への県産材の利用促進や県産材利用の木製機・イスの導入促進を図るほか、平成九年度は、住民参加による県産材を使用したモデル的な街づくり計画の作成や一般県民を対象としたログハウス講習会などを実施する予定です。

三 生産体制の整備等

住宅工法の合理化等により高品質な製材品の供給が求められています。各種展示会・研修会等を通じ品質の向上を図るとともに、乾燥材やJAS製材品

等の生産体制の整備を進めることとしていきます。

今後とも、関係団体と連携を図りながら、県産材の需要拡大を進めてまいりますので、よろしく願います。

県産材需要拡大施策概要

- | | | |
|---|----------------------------|---------|
| 1 | 普及啓発等 | |
| | 街頭キャンペーン（岡山市他 3カ所） | 【県木連】 |
| | テレビスポット（9月中旬～12月中旬） | 【県木連】 |
| | マスメディアの活用（グラフ岡山、ラジオ、新聞等） | 【 県 】 |
| | イベント（ふれあい木材展等） | 【県木連】 |
| | 岡山県木材利用相談センター | 【県木連】 |
| | 木材需要拡大推進会議等 | 【県・県木連】 |
| 2 | 補助事業等 | |
| | 県産材利用拡大事業 | 【市町村等】 |
| | 公共施設、民間施設及び床・壁の設置に対する助成 | |
| | 県産材利用木造住宅資金利子補給事業 | 【個人】 |
| | 県産材利用の木造住宅の新築に係る住宅資金への利子助成 | |
| | 木づくり学級整備事業 | 【市町村】 |
| | 小・中学校用の木製機・イスの導入に対する助成 | |
| | 単価 21,000円（補助率 1/2） | |
| | ウディタウン整備事業 | 【市町村】 |
| | 県産材使用のモデル的な街づくり計画の作成に対する助成 | |
| | ログハウス手づくり事業 | 【 県 】 |
| | 一般県民を対象としたログハウス講習会の開催 | |
| 3 | 生産体制の整備等 | |
| | 乾燥材、JAS製材品の供給促進 | 【 県 】 |
| | 加工施設の整備 | 【県木協連】 |
- 注：【 】は事業主体で、県木連＝（社）岡山県木材組合連合会
 県木協連＝岡山県木材協同組合連合会

スギ・ヒノキ穿孔性害虫について

一 はじめに

本県のスギ・ヒノキの人工林面積は一五万二千畝で、全民有林面積の約三四%を占めています。今後の国産材時代を迎えるためにも、これら貴重な森林資源を病害虫等から守っていくことが必要です。

スギ・ヒノキ穿孔性害虫による被害は、幼虫時代の材部への食害がほとんどで、その傷跡から変色・腐朽が起こり材価を著しく低下させます。しかも、これら変色・腐朽は時が経っても消えることはありません。

今回は、スギカミキリ及びスギノアカネトラカミキリについて紹介します。

二 スギカミキリ

【生態】

- ・ 成虫の出現は桜の満開時にピークとなり、交尾後、樹皮の隙間に産卵する。
- ・ ふ化幼虫が内樹皮に達したとき、樹幹表面にヤニ粒が

出るため、加害された指標となる。

- ・ 幼虫は木部表面を食害し、七～八月に材内で蛹化、十月に成虫となり、材内で越冬する。

【被害】

- ・ 「ハチカミ」と呼ばれる、幼虫による食害部や癒合組織が樹幹表面に現れる。
- ・ 特にスギでは食害痕から変色が入る。
- ・ ヒノキでは食害が環状に行われることが多く枯死しやすい。

【防除】

- ・ 被害は二〇年生までの林分で受けやすい。
- ・ 樹皮の粗い木に産卵が多い。
- ・ 防除の基本は早期発見、早期駆除である。
- ・ 伐倒焼却のほか破砕、薬剤処理を行う。
- ・ 成虫が暗いところに潜む習性を利用し、樹幹にこも等

を巻きつけ捕殺する。

- ・ 樹皮の粗い木が被害を受けやすいので、粗皮はぎも有効である。

三 スギノアカネトラカミキリ

【生態】

- ・ 成虫は三月下旬から四月に出現する。

- ・ 成虫は交尾後、枯枝に産卵し、ふ化した幼虫は枯枝に食い入り、その後樹幹に達し、材部を二年間食害する。
- ・ その後、再び枯枝に戻り、蛹化・羽化する。

【被害】

- ・ 「トビクサレ」と呼ばれる幼虫の食害による材の変色及び腐朽が生じる。
- ・ これらの被害は、外見から識別できないため、伐倒、玉切り、製材した段階ではじめて気づくことが多い。

- ・ 被害の発生する時期は、枯枝が生じる時期と重なる。

【防除】

- ・ 現在のところ、有効な薬剤防除方法はない。
- ・ 枯枝だけを産卵の対象とす

四 おわりに

ることから、適正な枝打の実施、枯枝の除去に努める。

スギ・ヒノキの穿孔性害虫の被害は、松くい虫被害のように枯死することはほとんどありませんが、経済的被害を考えると松くい虫よりもはるかに大きいと言えるでしょう。

大切な山を害虫からぜひ守ってください。害虫防除等についての相談は最寄りの振興局森林課までお願いします。

(林業専門技術員 安東義朗)

シリーズ森林公園 3

久米南美しい森



「久米南美しい森」は、棚田やため池、森林など里山の景観が残る久米郡久米南町下粕地区に位置する体験学習の森です。

各地域「美しい森」の中で最初に完成し、平成八年九月にオープンしました。

区域面積五九分のうち四三を占める森林には、遊歩道や野鳥観察小屋が整備され、林内で自然観察を楽しむことができます。また、六月下旬頃には湿性植物園でシヨウブやアヤマの美しい花が見られます。

林間にはキャンプ場や野外音楽堂、たき火のできる多目的広場などがあり、キャンプやコンサートなどに利用できます。

その他に、宿泊・研修施設としてビジターセンターがあり、併設の竹細木工房を利用して竹細工や木工を体験することもできるなど、利用される方のニーズに応じて様々な形での活用が可能です。

以上、森林や施設の概要についてご紹介しましたが、「美しい森」の特徴は、訪れた人が森づくりに参加できることです。

これまでに植樹のつどいの他、下刈り体験、ドングリ苗木の移植などを行ってきました。今後も美しい森づくりの会など多くの方の協力を得て、森づくりを進めていきたいと考えております。

平成九年一〇月には、オープン一周年を記念して「きのご祭り」を開催し、記念植樹、青空市などを行う予定としておりますので、ぜひお越しください。

【利用料金等】

- ・ビジターセンター宿泊
一泊 二五〇〇円/人

(小中学生 一五〇〇円)
(宿泊定員 二〇人)

・ビジターセンター研修利用

四時間 一、二〇〇円/室

以後一時間ごと 三〇〇円

・シャワー 一回 一〇〇円

・キャンプ場(一五サイト)

一泊または一回

一〇〇〇円/サイト

・野外音楽堂 六〇〇円/時間

・竹細木工房 無料

・レンタル品

キャンプテント(一張)

一泊 一〇〇〇円 他

【問い合わせ先】

久米南町役場産業課

(〇八六七)二八 二二二

(久米普及指導区Ag鈴木理恵)



普及指導最前線

汗を流して林業体験

一 はじめに

暑さも峠をすぎた今日このごろですが、人は夏バテでへとへとなのに対し、雑草の生命力の強さといったら、一週間も畑を放置しておくとも作物が見えないくらいに一面草だらけとなってしまう。日本の気候は高温多湿、多雨で樹木も生長するが、雑草も伸びる環境で、山の保育作業のうち夏期の下刈りは最も重要で過酷な作業となっています。

この過酷な作業を次代を担う子供たちに経験してもらうことで、森林の大切さや自然の重要性及び森づくりの苦労を知ってもらうため、当普及指導区では大原林業改良指導員駐在所が中心となって林業体験学習を実施しています。

二 下刈り体験学習

西栗倉中学校では毎年ヒノキやスギの植林地の下刈りを実施



下刈りの様子

しており十七年目を迎えた本年は、六月二十四日に全校生徒八十名の参加により実施されました。当日は快晴で厳しい初夏の日差しが容赦なく照りつけ気温はどんどん上昇し、生徒のみならずは全員汗だくでなれない鎌を振り回しながら、よく伸びた雑草や苗木に巻き付いたツルと格闘していました。

また、八月八日には東栗倉美しい森において「ジュニア下刈

り体験教室」を行いました。

これは昨年実施した「植樹のつどい」で自分たちが植栽した苗木の下刈りを行うもので、地元の大原小学校と大原中学校の有志十八名及び地元有志十七名の参加により行われました。

東栗倉林業研究会の下刈り指導のあと、真夏の太陽が照りつける中、全員で下刈りに取り組みました。

この一帯は野生のシカが多く生息しており、冬には餌の不足から苗木を食べられるため「ヘキサチューブ」という食害防止の白い筒を苗木にかぶせています。このチューブが太陽の光を照り返しキラキラ光る中、子供たちにとつて生涯忘れることのできない思い出となったことでしょう。

下刈りの後は森林インストラクターの長畑さんの指導により空き缶を使って自分でご飯を炊き、カレーライスを食べました。みんな夏バテもなく食欲旺盛でおかわりをするなど楽しい昼食会となりました。



おいしく炊けた空き缶ご飯

昼食の後はスギの板を利用した木工クラフトを林業改良指導員の指導で行い当日の記念として持ち帰りました。

三 おわりに

子供たちは下刈りの最中は「えれーなー」という声もありましたが、その後は時間の過ぎるのを忘れて熱中していました。

このように林業の厳しさと森林で遊ぶ楽しさを両方体験することで、少しでも林業に関する理解を深め、自然と親しむ心を養ってもらえたのではないかと考えています。

(勝英普及指導区 Ag 大賀哲哉)

製材品は、極めて優れたエコマテリアルであり、これを大量に用いた木造住宅は地球規模の環境保全に大きく貢献しています。しかし、さらに耐用年数を延長させ、木材の再利用化をはかることで、一層効果を上げることができま

す。図一は、住宅の解体年数の分布を示しています。木造では五〇年以上で壊しているのが意外に多いのですが、やはり一番多いのは二五年です。一方、木造以外の住宅で一番多いのは二〇年です。エネルギーを随分使った割には、早く壊してしまっ

ています。これらの住宅は、壊れて使えなくなっただけでなく、取り壊されたのではなく、いわゆる使い勝手が悪くなつたのが主な理由です。今後は、機能的な意味での耐久性向上をはかる必要があります。そのためには、設計する段階から将来のライフサイクルを見越した対応をはかつておくことが必要です。

木材は、きちんと処理すれば、住宅を壊した後もそのまま再利用できますし、砕いてチップにすりつぶすことも可能です。

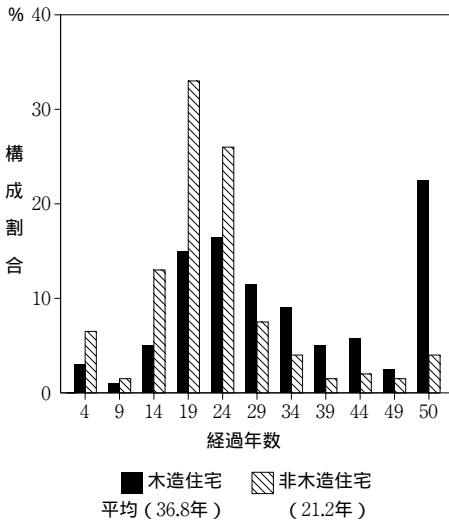
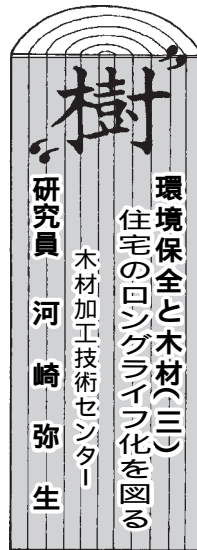


図1 住宅の解体年数の分布 (住宅金融公庫建設サービス部資料1989)



にすりつぶすことも可能です。建築材料として利用することも可能です。建築材料として再利用不可能なものであっても、燃料や飼料としての利用が可能です。木材は、このように段階的な利用ができる材料で

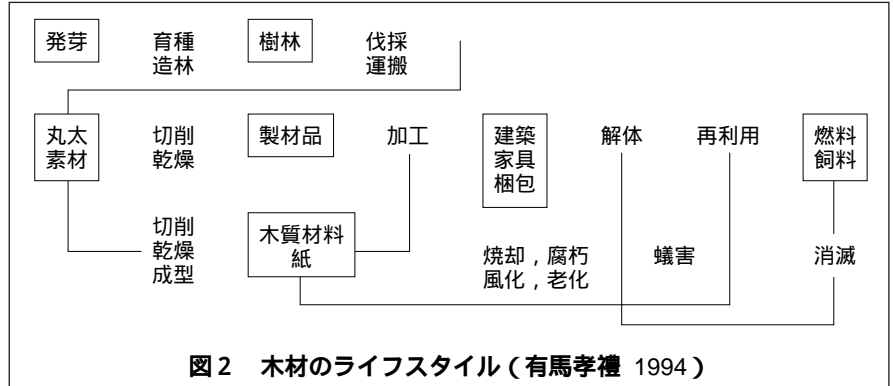


図2 木材のライフスタイル (有馬孝禮 1994)

す。以上のような木材のライフサイクルを、図二に示します。われわれは、環境保全という立場から、木材のより有効な利用方法について、日常生活を通して考えていく必要があります。このことが、生命を維持するためのかけがえのない環境を、未来にわたって保全することにつながると思われま

林 研 だ よ り

奥津町羽出地区農林業後継者クラブ

す ず の こ 会

会長 小 椋 満 男

奥津町は、岡山県の北部に位置し、林野率九〇%、人工林率七五%と県下でも有数の林業地であります。

すずのこ会は、奥津町の羽出地区にあり、昭和五七年に会員相互の連携と協調を図り、農林業の経営や生産技術の研鑽に努め、地域林業の振興を図ることを目的に結成されました。会員数も結成当時の一五名から現在では女性も加わり四二名となっています。当初の目的意識を持ち続けて今もなお積極的な活動に取り組んでいますので紹介します。

(1) 補助事業等への取り組み

平成二年度には林研グループは地域農林漁業振興研修事業を実施しています。

事業では、先進地視察研修をはじめ、複層林の設置、林業教室の開催、台形集成材を利用した「状差し」の製作、そして木

工ろくろの実演等を行い、グループ活動の活性化を図ってきました。

(2) 泉源純雪祭の開催

町内の独身男性に出会いの場を提供するとともに、全国各地から参加される女性に奥津の良さを味わってもらい、会員並びに奥津町の活性化を図ることを目的とを毎年二月に開催し、次回で六回目を数えようとして



泉源純雪祭

(3) 育林技術の習得

設立当初からの主要テーマであり、各種講習会への参加はもとより、優良材品評会へも積極的に参加しています。

また、保育作業を共同で実施

することにより、意見交換や情報収集に努め、技術向上を図っています。

(4) 技術研修等の受講

会員が

研修に参加する場合必要経費を会費の中から助成し、グループの技術向上の推進に寄与させるといふ制度を取り込んでいます。



高性能林業機械講習会

(5) みどりの少年隊の育成

子供たちが、自然を愛し環境を育み護る気運を育成することを目的としています。

すずのこ会が加盟する苦北地区林業グループ連絡協議会の主催するキャンプ交流会にも毎年参加し、三世代交流の一役を担っています。また、美しい森づくり運動にも植樹のつどい等で積極的な参加、指導を行っています。

すずのこ会では、地域からの幅広い要請に対応していくことにより、会員それぞれが担い手として、或いは地域のリーダー

として自覚を持ち、その役割を担っています。

また、同世代の後継者の六〇%が加入している羽出地区唯一の若手組織でもあり、当グループの存在は、近隣都市からUターンする青年の魅力ともなっているようです。

平成九年度には林業研究グループ森林講座事業にも取り組み、今後の益々の発展と活躍が期待されます。

(苦津普及指導区Ag 越尾勝彦)

お知らせ

自然歩道を歩こう大会開催

この大会は昭和五七年から実施しておりますが、本年も次のとおり開催します。美しい郷土の自然や歴史・文化にふれてみませんか。

一日時 平成九年(〇月五日) 一〇時三〇分～一五時

二 集合場所：大原駅前(智頭線) 場所 英田郡大原町(中国自然歩道) ウォークコース：大原駅、宮本

三 武蔵駅(約七km)

四 主催 岡山県、岡山県歩け歩け協会、他

その他 昼食、飲物等は各自ご持参願います。

中国自然歩道

中国地方を一周し、総延長は約一九〇〇km、県内ルートは昭和五二～

五七年に整備したもので西粟倉村から芳井町までの三二〇kmです。「自然保護課」



岡山県農林漁業担い手育成財団からのお知らせ

一 財団のあらまし

本財団は、本県農林漁業の中核となり、農山漁村社会建設の支えとなる自立自営の気概と実践力に富む若い担い手を計画的・永続的に確保・育成し、活力ある農林漁業の確立に寄与することを目的として、昭和五十六年三月に設立されました。

二 林業者の方への主な事業

地域農林漁業研修事業 生産、経営技術等に関する研究や県内外の先進地調査研修等、新しいことにチャレンジしようとする若い林業者の方を支援します。

助成金額は、グループの場合二十万円以内。個人の場合十五万円以内です。対象者は、三十九歳以下で林業に専業で従事している個人又はグループです。

農林漁業青年海外派遣研修事業 林業の研修を海外の先進地域へ行って行きたいという青年を派遣します。行き先、時期などのプランは自由に設定

いただけます。派遣期間は概ね二週間程度。助成金額は、海外研修に要する経費の二分の一以内(限度額三十二万五千円)です。

三 問い合わせ先

紹介いたしました事業のほかに、新たに林業に就業した青年の方に就業奨励金を支給する事業なども行っております。お気軽に御相談ください。

岡山県農林部新農業推進室内 岡山県農林漁業担い手育成財団 電話〇八六 二三四 二二一一

「林業研究グループ交換研修大会」開催される

県下の林業研究グループが集まって平成九年度の交換研修大会が八月四・五日の両日、西粟倉村で開催された。

各林研の活動状況が発表された後、「森林等の相続について」岡山弁護士会弁護士による講演が行われ、続いて「林業の復権をめざ



して」と智頭林研会長の講演があった。講演後、参加者から熱心な質疑と応答があった。 協会事務局 渡邊直人

美しい森づくり

「植樹のつどい」開催について

農林水産業関係者が一体となって、地域環境創造実践活動を県下各地で行っていますが、この度、森林・林業への理解を深め、森林の公益機能の向上を願って、勝山町の美しい森にみんなで植樹することになりました。 林業関係者にできるだけ多くの参加を呼びかけています。 なお、準備の都合から希望者は、あらかじめ左記に連絡の上参加下さい。

一日時 平成九年十月二十五日 十時三十分～十四時(小雨決行)

二 場所 真庭郡勝山町菅谷地内 「勝山美しい森」

三 主催 二十一世紀おかやま農林水産業活性化対策本部・岡山県 共催 真庭美しい森づくりの会・勝山町

四 問い合わせ先 真庭地方振興局森林課 電話(〇八六七)四四 三一一 内線二七九・二八〇

五 (林政課 美しい森づくり推進班 山下秀喜)

岡山空港からチャーター便で海外へ

岡山空港から中国（上海）、グアム、マレーシア方面へチャーター便が運航されており、9月以降の運航予定は別表のとおりです。価格も魅力的な旅行商品が多数企画されておりますので、グループ、個人の旅行や出張に是非御利用ください。岡山空港には、山陽自動車道岡山インターチェンジから車で10分、しかも、1,700台の無料駐車場が完備しており、大変便利です。岡山空港から直行便で海外へどうぞ。

詳しくは、お近くの海外旅行取扱旅行会社へお問い合わせください。

1. 上 海（中国東方航空）

	期 間	日数	席数
1	9 / 12(金) ~ 9 / 15(月)	4	103
2	9 / 15(月) ~ 9 / 21(日)	7	103
3	9 / 21(日) ~ 9 / 26(金)	6	103
4	9 / 26(金) ~ 9 / 29(月)	4	103
5	9 / 29(月) ~ 10 / 5(日)	7	103
6	10 / 5(日) ~ 10 / 9(木)	5	138
7	10 / 9(木) ~ 10 / 12(日)	4	103
8	10 / 12(日) ~ 10 / 16(木)	5	103
9	10 / 16(木) ~ 10 / 19(日)	4	103

運航予定機材：FKR - 100（6は MD - 82）

2. グアム（コンチネンタル・ミクロネシア航空）

	期 間	日数	席数
1	9 / 1(月) ~ 9 / 4(木)	4	150
2	9 / 4(木) ~ 9 / 8(月)	5	150
3	9 / 8(月) ~ 9 / 11(木)	4	150
4	9 / 11(木) ~ 9 / 15(月)	5	150
5	9 / 19(金) ~ 9 / 22(月)	4	153
6	11 / 4(火) ~ 11 / 7(金)	4	153
7	12 / 29(月) ~ 1 / 1(木)	4	153
8	1 / 1(木) ~ 1 / 4(日)	4	153

運航予定機材：B - 727

3. マレーシア（マレーシア航空）

	期 間	日数	席数
1	12 / 30(火) ~ 1 / 4(日)	6	280

運航予定機材：DC - 10

林産物市場況

製材 (8月上旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	25 - 28	6.0	一等	38 - 45	10.5	特等	110 - 115
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	33 - 35	12.0	特等	115 - 120
9.0	上一	18 - 20	9.0	上一	20 - 22	"	上小	130 - 160
"	一等	24 - 26	"	一等	28 - 30	13.5	特等	95 - 100
10.5	一等	40 - 45	10.5	一等	70 - 80	"	上小	120 - 130
"	特等	45 - 55	"	特等	85 - 90	ラ ス 板		
"	上小	60 - 70	"	上小	140 - 160	2m 1.2× 9.0		25 - 28
"	無節	80 - 100	"	無節	200 - 230	3m 1.2× 9.0		25 - 28
12.0	特等	40 - 45	12.0	特等	85 - 90	2m 1.5×10.5		22 - 25
"	上小	60 - 65	"	上小	140 - 150	2m 0.9×24.0		65 - 70
"	無節	70 - 80	"	無節	200 - 230	2m 1.5×21.0		38 - 42
長サ 4m			長サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	30 - 35	6.0	一等	55 - 60	杉4m 3.0× 3.0	無節	(本) 6 - 8
9.0	上一	20 - 23	9.0	上一	33 - 35	杉4m 4.0× 4.5	無節	(本) 12 - 20
"	一等	30 - 35	"	一等	45 - 50	杉4m 4.5×10.5	無節	230 - 280
10.5	特等	45 - 50	10.5	特等	85 - 90	桧4m 4.5×10.5	上小	250 - 280
12.0	特等	40 - 45	12.0	特等	70 - 80	桧4m 4.5×10.5	無節	280 - 330

木 材 (7月下旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	13	18	-
	11 - 13	19	30	-
	14 - 16	24	48	-
	18上	21	45	8
4m	7 - 10	14	27	-
	11 - 13	14	-	-
	14 - 16	20	43	-
	18上	18	40	15
6m	14 - 16	23	66	-
	18 - 20	20	60	-

乾しいたけ (7月中旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	安 値	高 値
香 信 大 葉	38	84
" 中 葉	26	68
" 小 葉	25	57
パ レ 大 葉	19	55
" 中 葉	19	56
ス ラ イ ス	36	45
香 茹	25	120
上 冬 茹	47	82
並 "	19	73
並 並 "	17	52
小 玉 "	14	45
格 外 品	7	49

編集後記

九月を迎え、上半期も終わろうとしています。仕事や作業など順調に進んでおられますでしょうか。

八月二十六日に、林業改良指導員の研修大会が開催され、「期待される普及指導活動をめざして」をテーマに活発な討議が行われました。今後の活動にあたり、たいへん有意義な大会であったと思います。次回発行は、十一月の予定です。(A)